

ゆとりのある生活
集まる・つながる・育む
～茨城県坂東市を活気あふれる町へ～

大竹研究室
01712168 和田奨平

1. はじめに

現在、コロナウイルスの影響で多くの人々が、自宅で1日を過ごすこともあるのでは無いだろうか。その影響もあり町は閑散とし、普段人々が集まるショッピングセンターやスーパー、公園まで感染を恐れて近づけない。

本計画では、人口減少が進行し、高齢化が進む地方に休憩所や買い物を楽しめるような施設を計画する。また、同じ敷地内に家族連れのための戸建て住宅や一人暮らしの集合住宅、近年増加傾向にあるシェアハウスを計画することでその地域に住む人だけではなく、他の地域から来た人を取り入れることによって人口減少を少しでも止められるような、繋がる・集まる・育むことを目標にした複合商業施設を提案する。

2. 概要

計画地は茨城県坂東市みどり町9、現在は空き地になっている元中古車販売所を敷地とした。

容積率：200% 建蔽率：60% 敷地面積：12,052 m²

計画地周辺は半径1キロ以内に幼稚園、小学校、高等学校や公園・図書館などといった多くの人々が利用するような施設が点在するが、利用するのはほとんどが地域の人で地域外からの利用者を増やすことが課題となる。

3. 建築概要

本計画は図1のように配置した。具体的な計画は以下の通りである。

①商業施設

施設の立面は敷地東面が住宅街のため町の景観崩すことのない平屋を採用し、フロアレベルに高低差

を出すことによってリズムを作り、買い物をしてワクワクするような空間になっている。

主な用途は下記の通りである。

〔直売所〕地元で取れた特産物などを販売する

〔飲食店〕施設に訪れた人が飲食や休憩ができる

〔物販店〕ハンドメイドの商品や生活雑貨などが取り揃えられている

〔フリーマーケット〕施設から駐車場に設置した日除の下で地域外の人でも参加でき周期的に行う。

〔外部施設〕また、フロアレベルの高いエリアにテラスを計画し、椅子やテーブルを設置し、利用者の憩いの場となる空間を設けた。

②戸建て住宅・集合住宅・シェアハウス（図2）

〔戸建て住宅〕ファミリーで利用できる平屋建て1棟と、2階建の住宅を2棟ずつ計画する。

〔集合住宅〕フラットタイプとメゾネットタイプの住戸を設置し、様々な境遇の人が暮らせるような住宅にした。

〔シェアハウス〕共通の趣味や仕事をできるように共同エリアを配置し、気持ちの良い距離感で生活できるような住宅を計画する。

③公園

地域の人々や、地域外の人々が気軽に利用できる。また、イベントや軽スポーツを行うことによって人と人との交流に繋がることを目的とする。

④散歩道

敷地の中央から外周まで様々なルートで木々を見ながら自然を感じ気持ちよく散策のできる空間を意識した。

